

## 浄化センターの役わりを学んで

右田 昌大

大刀洗町立 大堰小学校

ぼくは、社会の時間に水の大切さを考えるために、まず、生活の中でどんな事で水を使っているか考えてみました。洗たく、歯みがき、料理、手洗いがいい、プール、トイレ、お風呂、植物への水やりなど、たくさん使うことがわかりました。いつも、何も考えずに水を使っていたけれど、あらためて考えると、意外とたくさん事に使われているなと思いました。

生活で使った水は、ほとんどが下水管を通って、浄化センターへと運ばれていきます。社会科見学で、浄化センターの役わりや、仕組みについて、くわしく見てきました。

ぼく達の使った水は、下水管を通って、浄化センターに運ばれていきます。そこでは、使った後のよごれた水をきれいにして、川に流すということをしています。

まず、最初にちんでん池でお水をゆるやかに流して、小さなゴミやどろをしずめます。次に、反応タンクの中のお水にいるび生物に空気を吹きこみます。その空気で元気になったび生物がたくさんよごれを食べて増えます。食べることでよごれもしずみやすくなります。そして最終ちんでん池で分解してしずみややすくなった有機物をしずめて処理した水とおでいに分けられます。

最後に、消どく、水しつ検査をしてから川や海に放流することがくり返されます。かんきょうを守るために、24時間水のことを考

え、働いてくれている下水しよ理場には心から感しやしたいと思いました。いくら大好物とはいえ、きたないよごれを食べてくれるび生物は、やさしいなと思いました。使用後の水は、また川にもどるといことが分かりました。ぼく達の使った水を運んでくれている下水管がなかったら、トイレの水もたまったままではくさいし、かんきょうにも悪いです。下水道の仕組みを考えた人は、すごいなと思います。ぼく達の生活は、浄化センターに助けられながら、安心で安全にくらしていくことができているということを学びました。

これからは、水を大切に、自分でも出来ることをしていきたいです。